

福山平成大学 新型コロナウイルス感染防止のための授業実施ガイドライン

令和4年4月5日 危機対策本部会議決定

広島県の感染レベル		「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準		学内ステージ	授業の形態 講義, 演習・実験・実習・実技, 定期試験	ステージ移行猶予
		身体的距離の確保	感染リスクの高い教科活動			
レベル0 (目安) 2週間程度継続して新規感染者0	感染者ゼロを維持できている。	1mを目安に学級内で最大限の間隔をとる	適切な感染対策を行ったうえで実施	ステージ0	原則、対面形式	[0→1] 3日
レベル1	安定的に医療が対応できている。			ステージ1	対面形式と遠隔形式の併用 ※身体的距離1mを確保して対面形式で実施可とする。 身体的距離1mが確保できない場合は遠隔形式で実施する。	[1→2] 3日 [1→0] 3日
レベル2 (目安) 1週間の人口10万人あたり新規報告数10~15人	新規感染者が増加傾向で、医療の負担はあるが、段階的な病床増で対応できている。	1mを目安に学級内で最大限の間隔をとる	[収束局面] 感染リスクの低い活動から徐々に実施 [拡大局面] 感染リスクの高い活動を停止	ステージ2	原則、遠隔形式 ※遠隔形式では対応が困難な実践的な科目は、学部長・学科長の承認を得て、感染防止に最大限留意し、身体的距離2mを確保したうえで、対面形式で実施可とする。	[2→3] 3日 [2→1] 7日
レベル3 (目安) 次のいずれかに該当 ①確保病床使用率 50%超え ②確保重傷病床使用率 50%超え ③3週間後に確保病床使用率 100%超えと予想 (参考値:1週間の人口10万人あたり新規報告数50人)	一般医療を相当程度制限しなければ医療が適切に対応できなくなると判断された状況。	できるだけ2m程度(最低1m)	行わない	ステージ3	原則、遠隔形式 ※遠隔形式では対応が困難な実践的な科目の内、やむを得ない事情があると学部長・学科長が判断した場合は、学長の承認を得て、感染防止に最大限留意し、身体的距離2mを確保したうえで、対面形式で実施可とする。	[3→4] 1日 [3→2] 3日
レベル4 (目安) 次のいずれかに該当 ①確保病床使用率 50%超え ②確保重傷病床使用率 50%超え ③3週間後に確保病床使用率 100%超えと予想	一般医療を大きく制限しても医療が対応できない。			ステージ4 (目安) 学内で大規模なクラスターが発生し、爆発的な感染拡大の懸念があると予想	遠隔形式	[4→3] 7日

※学内ステージの区分は、広島県の感染レベル、「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準及び学内の感染状況等から総合的に判断し決定する。